

No.7 顧客検索画面 検索項目制御 プラグイン
プログラム仕様書

プロジェクト番号	
システム名称	
最終更新者	
最終更新日	

プログラム仕様書	プラグイン概要	作成者	
		作成日	
<p>○プラグイン概要</p> <p>検索画面において、検索条件の設定の簡易化・入力値の制御やチェックを行う ※本サンプルでは顧客ランクを使用する</p> <p>○処理概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期値設定（継続／終了フラグ等）を行う ・チェックボックスの連動（あるチェックボックスを変更すると別のチェックボックス型の選択肢が変化） ・特定の検索条件の入力を満たしていなければ検索押下時に検索できないようにする。 <p>○対象ブラウザ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Microsoft Internet Explorer 11 2. Microsoft Edge 3. Google Chrome <p>○実装方針</p> <p>対象ブラウザでの動作を満たすため、下記のバージョンに準拠して実装する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Javascript : EcmaScript 5 2. HTML : 4.01 3. CSS : 2.1 			

プログラム仕様書	プラグイン構成	作成者	
		作成日	

○ファイル構成

No.	要素名/階層構造	ファイル概要	備考
1	sample03.zip	プラグインアーカイブ	
2	- manifest.json	マニフェストファイル	
3	+ js	javascript ファイル用フォルダ	
4	- sample07.js	サンプルjavascript	
5			
6			
7			
8			
9			
10			

○定義一覧

No.	要素	子要素	用途	型	値	備考
1	plugin_name		プラグイン名	オブジェクト		
2		ja	日本語	文字列	サンプルプラグイン07	
3		en	英語	文字列	sample plugin07	
4		zh	中国語	文字列	插件的例子07	
5		ko	韓国語	文字列	샘플 플러그인07	
6	menu_type		メニュー表示フラグ	数値	0	0:非表示 1:表示
7	target		適用画面ID配列	配列		
7		[0]	画面ID	文字列	1_004	活動登録画面ID
8	note		プラグイン説明	オブジェクト		
9		ja	日本語	文字列	検索条件の設定の簡易化・入力値の制御やチェックを行う	
10		en	英語	文字列	Simplify search condition settings-Control and check input values	google翻訳使用
11		zh	中国語	文字列	简化搜索条件设置-控制和检查输入值	google翻訳使用
12		ko	韓国語	文字列	검색 조건 설정의 단순화·입력 값의 제어 및 검사를 수행	google翻訳使用
13	version		バージョン	文字列	ver 1.0	
14	author		著者	文字列	softbrain	
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						

○manifest.json

```
{
  "plugin_name": {
    "ja": "サンプルプラグイン07",
    "en": "sample plugin07",
    "zh": "插件的例子07",
    "ko": "샘플 플러그인07"
  },
  "menu_type": 0,
  "target": ["3_001"],
  "note": {
    "ja": "検索条件の設定の簡易化・入力値の制御やチェックを行う",
    "en": "Simplify search condition settings-Control and check input values",
    "zh": "简化搜索条件设置-控制和检查输入值",
    "ko": "검색 조건 설정의 단순화·입력 값의 제어 및 검사를 수행"
  },
  "version": "ver 1.0",
  "author": "softbrain"
}
```

○適用画面影響箇所



○適用コンポーネント一覧

No.	新規	適用要素	タイプ	型	追加処理	備考
1	○	ready	javascript	関数	顧客ランクの取得(RestAPI)及びUI操作	ページロード時イベント
2		onSearch	javascript	関数	ボタン押下時に「NOT検索」チェック	「検索」ボタン押下時実行
3		onClickAllCheckForSelect	javascript	関数	実行時にチェックボックス制御を行う	No.7大項目のみ
4		onClickAllUncheckForSelect	javascript	関数	実行時にチェックボックス制御を行う	No.7大項目のみ
5		onClickReverseForSelect	javascript	関数	実行時にチェックボックス制御を行う	No.7大項目のみ
6	○	checkbox_10096_1	html	チェックボックス	画面初期表示時にチェックを入れる	
7	○	CUSTOMER_10097	html	チェックボックス	選択変更時にチェックボックス制御を行う	
8	○	CUSTOMER_10098	html	チェックボックス	No.7大項目の状態を表示/非表示切り替え	

○No.7定義

拡張シートに定義された大項目、中項目が階層構造を表現している。

この定義から作成されたデータを元に、チェックボックスの選択時制御をおこなう。

The screenshot displays the 'No.7 Definition Search' interface. The left sidebar contains a navigation menu with items like 'ダッシュボード', '顧客', '案件', '名刺', '活動', and 'No.7定義'. The main content area shows search results for 'No.7定義検索結果' with a search condition of '条件なし'. Below the search results, there is a table with 8 items. The table columns are: ID, 大項目 (Major Item), 中項目 (Sub Item), 登録日 (Registration Date), 登録者 (Registered User), 最終更新日 (Last Update Date), and 最終更新者 (Last Updated By). The data shows a hierarchical structure of items from 10001 to 10008.

	ID	大項目	中項目	登録日	登録者	最終更新日	最終更新者
<input type="checkbox"/>	10001	大項目A	中項目1	2020-04-22 13:10	一般2	2020-04-22 13:10	一般2
<input type="checkbox"/>	10002	大項目A	中項目2	2020-04-22 13:11	一般2	2020-04-22 13:11	一般2
<input type="checkbox"/>	10003	大項目B	中項目3	2020-04-22 13:11	一般2	2020-04-22 13:11	一般2
<input type="checkbox"/>	10004	大項目B	中項目4	2020-04-22 13:11	一般2	2020-04-22 13:11	一般2
<input type="checkbox"/>	10005	大項目C	中項目5	2020-04-22 13:12	一般2	2020-04-22 13:12	一般2
<input type="checkbox"/>	10006	大項目C	中項目6	2020-04-22 13:13	一般2	2020-04-22 13:13	一般2
<input type="checkbox"/>	10007	大項目D	中項目7	2020-04-22 13:14	一般2	2020-04-22 13:14	一般2
<input type="checkbox"/>	10008	大項目D	中項目8	2020-04-22 13:14	一般2	2020-04-22 13:14	一般2

○追加処理

i.初期値設定（継続／終了フラグ等）を行う

① 画面を開いた際、「No.7フラグ」項目の「フラグA」にチェックを入れる

ii.チェックボックスの連動（あるチェックボックスを変更すると別のチェックボックス型の選択肢が変化）

① 画面を開いた際、大項目、中項目のチェックボックス情報を連想配列に格納する

大項目、中項目のチェックボックスの親コンポーネント(label)に格納されているテキストデータが「No.7定義」の情報と紐づくため、ラベル内のテキストデータを連想配列に格納しておく。

② No.7大項目のチェックボックス変更イベントを取得するリスナーを設定する

[7. CUSTOMER_10097]のチェックボックスの選択が変更された事を通知するリスナーを設定する。
実行処理は④の処理を呼び出す。

③REST APIで拡張シート情報(No.7定義)の登録データ一覧を取得する

RestAPI

URL : [コンテキストパス]/rest/v1/entities/search

Method : POST

Header :

X-Auth-API-Token : [管理者が発行したAPIトークン]

contentType: 'application/json'

data : {

searchCondition: {

targetObjectName: "customize_20134" ※拡張シート番号

},

columnCodes: [10099,10100], ※大項目、中項目コード

sortKeys: [{

columnCode: 10099, ※大項目コード

desc: false

}],

fromIndex: 1

}

④ ③で取得した拡張シート情報(No.7定義)の登録データ一覧を連想配列に格納
大項目、中項目の登録済みデータから大項目、中項目の連想配列を作成する
連想配列は中項目をキーに大項目の文字列を格納する

⑤ No.7大項目のチェックボックス変更時にNo.7中項目のチェックボックスの表示状態を変更する
[7. CUSTOMER_10097]のチェックボックスの選択状態変更時に実行する。
変更時はすべてのNo.7大項目のチェックボックスの選択状態をチェックし、
下記の条件でNo.7中項目のチェックボックス[8. CUSTOMER_10098]の表示状態を切り返る。

[表示条件]

1. No.7大項目が全て未選択ならNo.7中項目チェックボックスは全て表示とする
2. チェック済みNo.7大項目に紐づくNo.7中項目チェックボックスのみ表示する
※非表示対象はチェックボックスと親ラベルに設定されている文字列
※判定には①、②、④で作成した連想配列を使用

⑥No.7大項目の「全て選択」ボタン押下時に⑤の処理を実施する ※[3. onClickAllCheckForSelect]実行
onClickAllCheckForSelect関数呼び出しをフックし、オリジナルの処理を実施後、⑤の処理を実行する。
※本ボタン押下時の選択変更ではイベントリスナーが動作しないため、独自で実行

⑦No.7大項目の「全て解除」ボタン押下時に⑤の処理を実施する ※[4. onClickAllUncheckForSelect]実行
onClickAllUncheckForSelect関数呼び出しをフックし、オリジナルの処理を実施後、⑤の処理を実行する。
※本ボタン押下時の選択変更ではイベントリスナーが動作しないため、独自で実行

⑧No.7大項目の「全選択」ボタン押下時に⑤の処理を実施する ※[5. onClickReverseForSelect]実行
onClickReverseForSelect関数呼び出しをフックし、オリジナルの処理を実施後、⑤の処理を実行する。
※本ボタン押下時の選択変更ではイベントリスナーが動作しないため、独自で実行

iii. 特定の検索条件の入力を満たしていなければ検索押下時に検索できないようにする。 ※[2. onSearch]実行

①onSearch関数の呼び出しをフックしNo.7大項目とNo.7中項目の「NOT検索」が同一状態かチェックする
「NOT検索」が同一状態でない場合はアラートを表示してオリジナル処理を実施しない(中断する)
※No.7大項目とNo.7中項目の「NOT検索」の状態が異なると検索条件に不整合が発生するため
→ 「NOT検索」チェックボックスを連動する方法も可能だかサンプルのため本方式を採用